

## 公益財団法人 第五福竜丸平和協会 平成26年度事業計画

ビキニ水爆事件・第五福竜丸被ばく60年事業を中心に、第五福竜丸展示館の活用、第五福竜丸を知らせ伝える活動を進める。

### 公益目的事業

東京都の受託事業としての第五福竜丸展示館の管理・運営が当法人の基本的な事業である。開館日は、定められた休館日を除き308日となる。

引き続き、団体見学をはじめ全ての来館者に対するガイド・解説を実施する。来館者の増加のため広報活動を積極的に行う。

#### ■展示替

第1回展示替として、ビキニ水爆実験被災60年記念企画展示「水爆の時代をたどる一所蔵資料から見える第五福竜丸の被ばく」を行う。

第2回展示替として、60年記念事業特別展「第五福竜丸とアート」、岡本太郎、池田龍雄、寺田政明ら著名な作家によるビキニ・第五福竜丸に関連した作品の映像展示と現代作家による第五福竜丸アート作品の展覧会を行う。

#### ■60年記念事業のとりくみ

##### 1) 連続市民講座

核実験・核開発の歴史的な画期であったビキニ水爆実験と被災事件を総合的に再検証し、冷戦期の核開発、＜大気圏核実験＞による環境汚染や健康被害、人体実験、被害者放置と補償、日米関係などを掘り下げ、研究者と市民をつなぐ講座とする。

明治学院大学国際平和研究所との共催で開催する。

開催日：第1回4月20日、第2回6月14日、第3回7月19日、第4回9月6日

会場：明治学院大学白金校舎

##### 2) 船体・エンジンの保存に関するこれまでの取り組みを継続しつつ、60周年を契機に東京都との協議を開始する。

##### 3) 2016年の第五福竜丸展示館の開館40周年に向け、展示館のメンテナンスなどについて東京都への要請と協議を進める。

### 出版事業等

□60年記念出版『第五福竜丸は航海中—ビキニ水爆被災事件と被ばく漁船60年の記録』の普及に取り組む。

- 連続市民講座の記録を市民向けのブックレット（資料集）として発行する。
- 「ビキニ事件とわたし」の手記募集と冊子の刊行に取り組む。
- 絵本、紙芝居の製作を検討する。子どもから大人までを対象に企画の検討を進める。
- 第五福竜丸パネル展を各地で自治体の協力を得て進める。
- 2020年東京オリンピックに向けて、第五福竜丸展示館の広報宣伝や展示を多国の言語で行えるよう検討を始める。